

【介護方法①－２】 食事、水分摂取の支援

	評価対象項目	協力者の評価 (出来ていること、課題)	受講生から見た評価
認知症の状態に 配慮したケア	本人は朝食、昼食、夕食の区別がついているか 本人が食事の場所を理解しているか 本人は座る席を理解しているか 本人は食べ物であると認識できているか		
身体状況に 配慮したケア	入歯があれば適切に装着できているか 食べる姿勢に問題はないか 食べるペースは適切か 合間に水分は適切に摂取できているか		
習慣、生活歴、 性格に配慮した ケア	馴染みの献立であるか 食事の時間帯は適切か 本人に合った声掛けができているか 気の合う利用者と一緒に食事ができているか		
社会環境に配慮 したケア	周囲は食事をする環境であるか 職員の声掛けは適切か 広すぎる場合はパーテーション等の工夫をしているか テレビの音は大きすぎないか		
その他	食後の口腔ケアは適切か 個別の湯飲みなどを使用しているか エプロンのつけっぱなしはないか		